

令和5年（1月～12月） における火災の状況 （概数値）

消防庁防災情報室

1. 総出火件数は38,659件、前年同期より2,345件の増加

令和5年（1～12月）における総出火件数は、38,659件で、前年より2,345件（6.5%）増加しています。これは、平均すると1日当たり約106件、約14分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災種別で見ますと、次表のとおりです。

令和5年（1～12月）における火災種別出火件数

種別	件数	構成比	前年同期比	増減率
建物火災	20,968	54.2%	801	4.0%
林野火災	1,290	3.3%	51	4.1%
車両火災	3,523	9.1%	114	3.3%
船舶火災	58	0.2%	▲20	-25.6%
航空機火災	1	0.0%	▲1	-50.0%
その他火災	12,819	33.2%	1,400	12.3%
総火災件数	38,659	100%	2,345	6.5%

2. 総死者数は1,500人、前年より48人の増加

火災による総死者数は、1,500人で、前年より48人（3.3%）増加しています。

また、火災による負傷者は、5,731人で、前年より19人（0.3%）減少しています。

3. 住宅火災による死者（放火自殺者等※を除く。）数は977人、前年より5人の増加

建物火災における死者1,201人のうち住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災における死者は、1,074人となっています。更にそこから放火自殺者等を除くと977人で、前年より5人（0.5%）増加しています。

なお、建物火災の死者に対する住宅火災の死者の割合は、89.4%で、建物火災の件数に対する住宅火災の件数の割合53.9%と比較して非常に高くなっています。

（※ 放火自殺（心中を含む。）者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者。以下同じ。）

4. 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）の7割以上が高齢者

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）977人のうち、65歳以上の高齢者は727人（74.4%）で、前年より4人（0.5%）減少しています。

また、住宅火災による死者の発生した経過別の内訳は、逃げ遅れ396人（前年比30人（7.0%）減）、着衣着火38人（前年比3人（7.3%）減）、出火後再進入18人（前年比3人（20.0%）増）、その他525人（前年比35人（7.1%）増）となっています。

5. 出火原因として最も多いものは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数の38,659件の出火原因別の内訳は、「たばこ」3,493件（9.0%）、「たき火」3,472件（9.0%）、「こんろ」2,837件（7.3%）、「放火」2,487件（6.4%）、「電気機器」2,202件（5.7%）の順となっています。

問合せ先

消防庁防災情報室
TEL：03-5253-7526